

まず行動を起こす

→ 共に考え行動する

→ 力をまとめる

→ 確かめ合う

1 【 校長のビジョン実現のための構想づくり 】

職員に積極的にかかわってほしい。組織で動いて、実現したい。

校長のビジョン実現のため、教職員一人一人や各組織それぞれの望ましい取り組み方をイメージしてメモ書きし、各組織への働き掛けも含めて、構想を流れ図に示している。

校長のビジョンに対する職員一人一人の共通理解を図りたい。

職員に分かりやすく示すために、校長のビジョンと学校の様々な教育活動との関連をビジュアル化したり、共通理解を図るためのワークシートを作成したりしている。

教頭としての戦略の構想を、自分できちんと把握したい。

学校内外の人的・物的環境についてSWOT分析し、強みや弱みを把握した上で、全体的な構想を図に表している。

示された校長のビジョンについて、その実現のための構想を練っている。

2 【 新たな取組の発見とその実現への構想づくり 】

職員のアイデアを引き出し、生かしたい。

雑談の中で、新たな良い取組につながりそうな事柄について、コーチングの手法を用いて具体的なイメージとして引き出し、実現に向けての構想を練っている。

より良い児童生徒・学校を求めて新しい取組をしたい。

校長や職員との雑談の際に、児童生徒や学校の実態を意識し、新たな良い取組へつながりそうなヒントを見付け出すよう意識している。

教育活動のマンネリ化を防ぎ、学校を活気付けたい。

日常の教育活動について雑談的に校長や職員と話し、視点を変えた見つけ直しをする。そのことで改善へのきっかけをつかみ、構想に生かしている。

児童生徒や学校のためになると思われる新たな事柄を見だし、実現に向けて構想を練っている。

教頭

教務主任

学年主任

研修主任

まず行動を起こす



共に考え行動する



力をまとめる



確かめ合う

3 [現状の取組をより良くするための構想づくり]

職員の思いや願いを生かしたい。

学校内外のあらゆることを想定して、職員一人一人の活躍の場を構想し、計画的に位置付けている。

取組の積み重ねができるようにしたい。

手順や段取りの区切りを意識し、短期的、中・長期的なスパンで取組の振り返りを位置付けている。

課題と改善の方策を職員に意識化させたい。

分掌組織を基本としたチームごとに、課題を類型化させ、それぞれの解決への改善策を全体で交流させる機会を作っている。

より良い成果を目指して、複数の構想を練っている。

4 [率先した行動で範を示す取組]

仕事への自分自身の取り組み方や言動で、職員をより良く変えていきたい。

文書の作成や処理を的確に素早く行ったり、電話や来校者への対応を率先して行ったりなどしている。このことを職員への模範と意識して行動している。

職員のモチベーションを高め、積極的に取り組むようにしたい。

困難な場面でも、前向きに挑戦する考え方や態度を示す。このことを職員への模範と意識して行動している。

学年や部会の各主任に、経営的な視点の力を付けたい。

各主任が参加する会議において、校長の意思を図示して伝えたり、メンバー全員が生きる運営をしたり、行政や保護者・地域も配慮した発言をしたりしている。このことを職員への模範と意識して行動している。

仕事に対する意識などについて、自らの行動で模範を示している。

まず行動を起こす



共に考え行動する



力をまとめる



確かめ合う

5 【 学校課題に対応した改善計画の立案 】

それぞれの組織を活性化させて課題解決に当たり、学校の力を伸ばしたい。

職員一人一人の取組を、課題解決に向けた同じベクトルのものにしたい。

課題に対する職員一人一人の取組を振り返らせたい。

課題に深く関係する分掌のトップへ働き掛けて、組織として取り組める行動計画を共に立て、全体で発表会をするなどして検討している。

各組織の改善計画のワークシートを、職員一人一人の取組が位置付くように工夫するとともに、学校全体の改善計画につなげている。

課題に対する各自の取組と改善策を、「学年や分掌等の組織 全体」の流れで交流できる時間と場を設定している。



学校評価により明らかになった課題に対応した改善計画を立てている。

6 【 新しい事柄の職員への提案方法の立案 】

校長からの提案を上手に職員に伝えたい。

現在の教育活動と絡めながら伝えたい。

職員の負担増への対策を立てておきたい。

児童生徒からみた長所、一人一人の職員からみた長所、学校全体からみた長所を、具体的な場面を想定しながら検討している。

あらかじめ、新しい事柄が既実践している教育活動のどこに関連するのか、計画や分掌とのかかわりを検討している。

新しい事柄を取り入れることによる職員の負担増を、一人一人の職員について把握し、他の教育活動との関連にも配慮した具体的な改善計画をもっている。



新しい事柄を学校に取り入れる際には、そのことの長所を具体的な事例で説明できるように準備している。

教頭

教務主任

学年主任

研修主任